

命がつながる社会へー 中野ともあきの挑戦

妊娠・お産・子育てを、誰もが安心して迎えられる未来のために。

公約

1. 出産と子育て制度の見直し 助産所や家庭分娩など、多様なお産の選択肢を保障し、出産の安心と納得を大切に制度設計をめざします。
2. 周産期ケア基本法の制定 妊娠・出産・産後を切れ目なく支えるため、医療・助産・福祉が連携する仕組みを法制度として整えます。
3. 支援者の待遇と育成支援 助産師や訪問看護師など、現場を支える人材の待遇を改善し、地域で育つ支援者の育成体制を築きます。
4. 生きづらさへの具体的支援 孤育てや産後うつ、多胎・障害児家庭など、ひとり一人の命と暮らしに寄り添う支援制度を広げます。
5. 命を育む社会の指標化 出生数ではなく「安心して命を迎えられるか」を社会の指標に。命をつなぐ仕組みを地域からつくります。

政治を志す理由

2026年から始まる「出産の保険適用」は、命をめぐる制度が大きく変わる歴史的な転換点です。しかし医療偏重の制度設計のままでは、家庭的で自然なお産や、地域の支え合いが失われ、母子の孤立や医療依存が深まるおそれがあります。私はこれまで、妊娠・お産・子育ての現場で、多くの家族と向き合い、助産師や医療者と連携してきました。その中で痛感してきたのは、「制度中心」ではなく、「命と暮らしの現場」から社会を見直す必要があるということです。政治は争いではなく、命を育む文化の土台。誰もが安心して命を迎えられる社会をめざし、私は政治に挑みます。



中野ともあき (48)

千葉県松戸市在住・5児の父

理学療法士／妊活・こども整体サロン花葉代表
一般社団法人日本妊活協会代表理事
妊活・周産期・子育ての現場で10年以上活動。
命と暮らしを支える仕組みを全国へ。

中野ともあき公式
SNSアカウント



HP



Instagram



無所属連合
なかの
中野ともあき